

# 第46回 水工学に関する夏期研修会

主催：(社)土木学会(担当：水工学委員会, 海岸工学委員会)

共催：(社)土木学会関西支部

期日：2010年8月11日(水)～12日(木)の2日間  
(A・Bコース並行開催)

場所：神戸大学工学部C3-302教室およびLR501教室  
(神戸市灘区六甲台町1-1)

アクセスマップURL

<http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/rokko/honbu-kou.htm>



本研修会は土木学会のCPD(継続教育)プログラムとして認定されています。

日程および講義題目・講師 (注) 講義題目には若干の変更がある場合があります

Aコース(河川・水文) [行事コードNo.23002]

Bコース(海岸・港湾) [行事コードNo.23003]

《総合テーマ》:「都市水害の実態と避難対策」

《総合テーマ》:「データから見る沿岸域」

## ■ 8月11日(水)

## ■ 8月11日(水)

9:15～ 10:45	局地的集中豪雨の実態と避難対策 —都賀川水難事故を例として 藤田一郎 (神戸大学)	9:15～ 10:45	沿岸域の水質モニタリング・データの 解析手法 山本民次 (広島大学)
11:00～ 12:30	災害情報と避難の心理学 矢守克也 (京都大学)	11:00～ 12:30	データで見る瀬戸内海の藻場 ～変遷、現状、そしてその意義と保全～ 吉田吾郎 (水産総合研究センター)
13:30～ 15:00	河川水難事故の実態とその防止策について 河崎和明 (河川環境管理財団)	13:30～ 15:00	沿岸環境を支配する流れと鉛直構造 —データから読みとれること 松野 健 (九州大学応用力学研究所)
15:15～ 16:45	都市水害対策における気象情報 櫻井康博 (日本気象協会)	15:15～ 16:45	閉鎖性内湾域における生態系の再生・管理 のためのデータ活用 古川恵太 (国土技術政策総合研究所)

## ■ 8月12日(木)

## ■ 8月12日(木)

9:15～ 10:45	集中豪雨に伴い発生する東京都心部の 内水氾濫被害とその数値予測 関根正人 (早稲田大学)	9:15～ 10:45	波崎海洋研究施設で観測された 20年間の流速変動と地形変化 栗山善昭 (港湾空港技術研究所)
11:00～ 12:30	河川情報に関する新たな取り組み 五道仁実 (国土交通省)	11:00～ 12:30	Xバンドレーダによる海岸地形の連続観測 武若 聡 (筑波大学)
13:30～ 15:00	天然ダムの決壊に関する研究の重要性 中川 一 (京都大学)	13:30～ 15:00	港湾施設の健全度・劣化に関するデータと 維持管理 横田 弘 (北海道大学)
15:15～ 16:45	河川史研究の意義・・・明治改修から考 える 松浦茂樹 (東洋大学)	15:15～ 16:45	ナウファスにおける波浪・潮位等の 観測の現状と今後の課題 河合弘泰 (港湾空港技術研究所)

定員：Aコース150名, Bコース150名

受講料：1コースにつき, 一般16,000円, 学生・院生13,000円(いずれも講義集代を含む)

申込方法：土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

もしくは、FAX(学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」)をご利用下さい

\*申込書到着後、10日前後にて折り返し「参加券」および「請求書類」をお送り致します

申込締切日：2010年7月30日(金)【必着】

締め切り日以降は、原則として行事当日会場にて受付致しますが、定員に達している場合がありますので、事前に下記へお問合わせ下さい

問合せ先：土木学会 研究事業課 TEL:03-3355-3559(担当:岩西)

備考：会場の詳細、講義の変更等の最新情報に関しては、下記ホームページでご確認ください

水工学委員会ホームページ <http://www.jsce.or.jp/committee/hydraulic/>

海岸工学委員会ホームページ <http://www.coastal.jp/ja/>